
七子と七つの心

源雪風

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

七子と七つの心

【Nコード】

N4839K

【作者名】

源雪風

【あらすじ】

男に合わせて性格を使い分ける七子。

でも、素の自分だって素敵だよ。

七子はなかなかの美人だ。

恋愛に積極的で、暇さえあればいかに男を引っかけるか考えていた。七子の職場はカフェで、好みの男が八人いた。

そこで七子はそれぞれの男に、好みの女性のタイプを聞きだして、男によって、性格を使い分けた。

しかし一人だけ聞き出せない男、高木君がいたので、そいつは後回しにした。

だが、タイプを聞き出せた七人の男は、別の女と付き合いだしたり、結婚したりして、ついに後回しにした高木君に手出ししようとした。

そんなある日、七子は高木君に言われたのだった。

「僕は男に合わせてころころ態度を変える人は嫌いです。僕は、そのままの自然な七子さんが好きです。」

七子は困ってしまった。

今まで使い分けていたせいで、本当の自分はどんな性格が分からなくなってしまうた。

仕方が無いので、そのことを高木君に素直に話した。

「今の七子さんが一番自然でしたよ。僕は他の男にちやほやされている七子さんを見ているのが嫌でした。今度は僕だけにちやほやしてください。」

七子は高木君らしいプロポーズを聞いて、素直に笑った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4839k/>

七子と七つの心

2011年1月12日20時24分発行